



2022年10月28日

各 位

会社名 愛知製鋼株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤岡 高広
(コード番号: 5482 東証プライム・名証プレミア)
問合せ先 企画創生本部
経理部長 村上 賢記
(TEL. 052 - 603 - 9227)

業績予想数値と実績値との差異、通期業績予想の修正及び
剰余金の配当（中間配当）、並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ

2022年7月29日に公表した2023年3月期第2四半期(累計)業績予想数値と本日公表の実績値において差異が生じました。また、本日（2022年10月28日）開催の取締役会において、2022年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を行うことを決議いたしました。

併せて、2023年3月期の通期業績予想数値及び期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績値との差異

(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する四半期利益	基本的1株当たり四半期利益
前回発表予想 (A)	百万円 142,000	百万円 0	百万円 0	百万円 0	円 銭 0.00
実績値 (B)	139,809	291	1,206	223	11.33
増減額 (B - A)	△2,191	291	1,206	223	
増減率 (%)	△1.5	—	—	—	
(ご参考)前第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	122,984	2,907	3,060	1,726	87.59

2. 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想 (A)	百万円 301,000	百万円 1,000	百万円 1,000	百万円 0	円 銭 0.00
今回修正予想 (B)	299,000	3,000	4,000	1,900	96.31
増減額 (B - A)	△2,000	2,000	3,000	1,900	
増減率 (%)	△0.7	200.0	300.0	—	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	260,117	2,139	2,895	1,089	55.29

3. 剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2022年7月29日公表)	前期実績 (2022年3月期中間)
基準日	2022年9月30日	同左	2021年9月30日
1株当たり配当金	10円	(未定)	20円
配当金の総額	197百万円	—	394百万円
効力発生日	2022年11月25日	—	2021年11月26日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

4. 期末配当予想の修正

	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	(未定)	(未定)	(未定)
今回予想		20.00	30.00
当期実績	10.00		
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	20.00	10.00	30.00

5. 理由

(業績予想数値と実績値との差異)

当第2四半期累計期間の業績につきましては、主要顧客の自動車業界を中心とする減産の影響により、売上収益は前回予想を下回ったものの、販売価格や金融収益などが想定を上回ったことにより、利益は前回予想を上回る結果となりました。

(通期業績予想数値の修正)

販売数量は当上期での下振れに加え、下期も前回予想の想定を下回る見込みとなる一方、販売価格は前回予想の想定を上回ることが見込まれます。これらを踏まえ、売上収益は既公表値を下方修正し、利益は既公表値を上方修正いたします。

(剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正)

当社は、配当につきましては、将来の事業展開に必要な内部留保を確保しながら、業績、財政状態及び配当性向等を総合的に勘案して株主のみなさまのご期待にお応えしていきたいと考えており、連結配当性向は30%を目安としております。

従来は未定としておりましたが、当該方針及び業績予想数値の上方修正に基づき、上記に記載のとおり年間配当予想を1株当たり30円、うち中間配当を1株当たり10円、期末配当（予想）を1株当たり20円といたします。

(注) 上記の業績予想及び配当予想につきましては、当社グループの予想に基づくものであり、実際の業績は様々な要因の変化により異なる場合があることをご承知おきください。